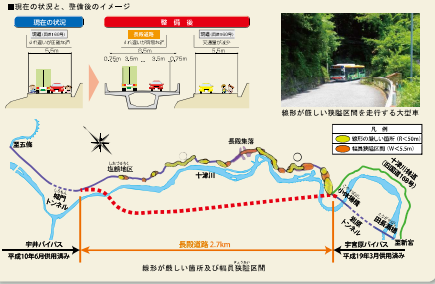


2 急カーブ連続区間、幅員狭小区間が解消され、安全・安心な通行が確保されます。

長殿道路が整備されることにより、急カーブ、すれ違い困難な区間が解消されます。また、現道の交通が長殿道路に転換するため、現道を通行する歩行者や自転車利用者の安全が確保されます。また、紀伊半島の南北軸を強化し、十津川村と五條市間の所要時間短縮を図り、地域間連携の強化を図ります。



3 救急医療施設への到達性が向上します。

長殿道路の開通により長殿地区での異常気象時の交通規制や、被災時の通行止めのリスクが低減されるとともに、走行性が向上します。また、五條新宮道路の整備により救急医療施設への搬送時間が大幅に短縮されます。



長殿周辺の観光振興

十津川村では、「十津川村観光ナビゲーション」として5つのエリアで観光振興しています。

- <橋のエリア>**
日本の村の村は、日本一を誇る「空淵の吊り橋」【吊り橋を代表する村、谷津の吊り橋】上野野から谷津の谷間は、高さ5.4m、長さ297mの日本一長い鉄道の吊り橋が架かっています。
- <集のエリア>**
人が集う情報が集う。村の賑わいを集める。【歴史と伝説の温泉 湯葉地蔵湯】大字式部、十津川本流の支流にある湯葉地蔵湯は十津川村で最も古く、550余年の歴史を秘めた炭酸含有の素晴らしい温泉です。
- <水のエリア>**
【日本一の清流】谷津の滝、その種類の上と谷津の滝は、国道168号河川口より東へ約1.2km、花野方面から河川の上流にあり、落差32m、しきりをあげて流れ落ちる滝さのものが姿をみることができ、滝さの上流を流れて、行く先めぐる水質を流す流れも、一見の驚きがあるでしょう。
- <花のエリア>**
【三好】またがる山や、ホトトギスなどに囲まれた山崎神社。神社は、和歌山県・三好郡・合原(十津川村)の一角にまたがる峠で、その周辺ははるか昔に知られ、今も数多くの観光客を魅了します。
- <泉のエリア>**
心を癒せる温泉。古湯と温泉の郷【三好野ダム湖畔の温泉十津川温泉】九條平間(長殿)に入りが変わったといわれる温泉を温泉地として、昭和49年十津川温泉ができました。

長殿道路の事業の進め方

- 1 地元説明** 建設計画に必要で建設者の立ち入り事業等を含めた、建設の計画書を提出します。
- 2 路線測量** 道路、山形などの地形、地質などのデータを取得し、建設の計画書を提出します。
- 3 設計協議** 建設する道路、本道の建設設計書などについて、地元の方々と協議します。
- 4 道路設計** 地元との設計協議を進め、工事実施のための道路の設計を行います。
- 5 地元説明** 地元にて、建設に必要な事項について、建設の計画書の説明を行います。
- 6 用地測量** 建設計画に基づいた測量を行います。
- 7 用地買収** 建設の事業計画など、建設者の立ち入り事業等を含めた、建設の計画書を提出します。
- 8 工事説明** 工事の進め方、安全対策などについて説明します。
- 9 工事実施** 地元の方々と協議し、工事を行います。
- 10 開通** 工事が完了すれば通行を開始します。
- 11 維持管理** 快適な通行を確保するための、道路の維持管理を行います。

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所
 〒630-1115 奈良県大和郡ST日高第11号 TEL.0742-93-1991 (代表)

道路の現状を閲覧し、道路の状況や通行の状況を確認してください。
 道路の状況や通行の状況を確認してください。

#9910 24時間 奈良県 総務課

奈良国道ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/nara>

168 ながとの 長殿道路

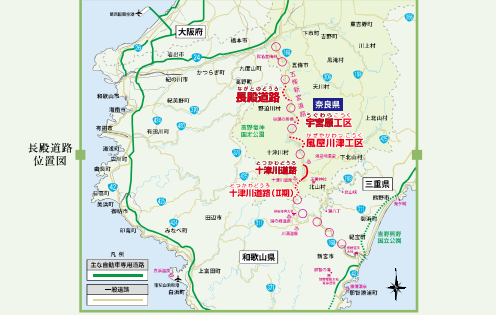


国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

Nagatono

五條新宮道路は、紀伊半島のアンカールート(いかり型ルート)として、紀伊半島の地域づくりを支援します。

国道168号五條新宮道路は、奈良県五條市から和歌山県新宮市を結ぶ高規格道路です。「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路です。住民の生活と安全を守る「いのちの道」として、防災のみならず、人と物の流れを活性化し、地域の活性化を図るうえで必要不可欠な道路ですが、現在も未改良区間が多くあり、国と県で早期完成に向け整備中です。



長殿道路とは...

- 長殿道路について
「五條新宮道路」の整備区間である五條市以南の国道168号は、急峻な地形条件のため、未改良区間(線形不良・幅員狭小)が多く、大部分が異常気象時通行規制区間となっているため、和歌山県・奈良県において順次整備を行っています。特に、紀伊半島大水害(平成23年9月)により被災した長殿地区では、地形・地質条件が厳しく、整備に高度な技術を要する区間であることから国土交通省優先代行事業として、安定した交通の確保、生活の利便性向上、地域の活性化等を目的に「国道168号長殿道路」として整備を進めています。
- 整備区間における国道168号の現状
奈良国道事務所が整備を進める国道168号長殿地区は、V字谷渓谷となる熊野川の急峻な斜面を併走するため、線形不良かつ幅員狭小区間が多く存在しています。また、区内には大規模な土壌が多く存在することから、降雨時の斜面崩落など災害リスクの非常に高い地区となっています。さらに、バイパス改良区間となっている隣接T区から、走行速度の高い車両が区内に流入するため、交通安全の問題も懸念されています。



高規格道路とは

高規格道路は、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはそれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成し、地域の実情や将来像に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路です。

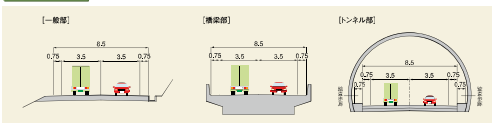
計画諸元

長賜道路	
路線名	国道168号
区間(起点)	奈良県吉野郡十津川村長殿
区間(終点)	奈良県吉野郡十津川村長殿
道路規格	第3種第2級
延長	2.7 km
標準幅員	8.5 m
計画速度	60 km/h
車線数	2車線

事業の経緯

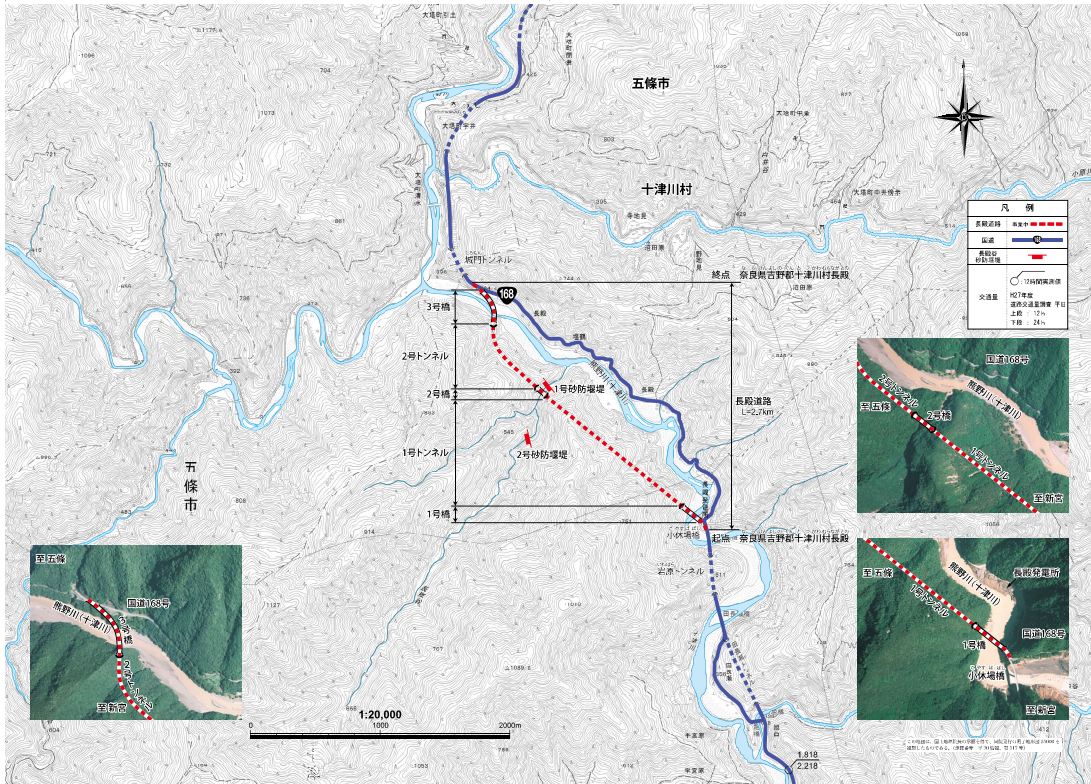
年度	事業内容
昭和57年	調査開始
平成24年	国による権限代行として新規事業化
平成31年	工事着手

標準断面図



環境への影響が少ない道路整備

十津川村は豊富な自然に恵まれており、学術上においても重要な動物が生息しています。そのため、道路整備にあたっては自然との調和を図りつつ、周辺環境への影響が極力少ない道路構造を選定しています。生息が確認されている猛禽類等について、工事による影響を少なくするため、詳細な猛禽類や植物等の現状調査を実施しています。今後は、専門家の指導を受けながら貴重動物への対応を行っていくと共に、同じく国土交通省が事業を行っている紀伊山系直轄砂防事業(長殿谷砂防堰堤群)など、工事工程の調整や工事用道路の共同利用など、周辺環境への影響を更に低減するための検討を行います。



求められる災害に強い道路整備

紀伊半島大水害(平成23年9月)による甚大な被害

平成23年9月に発生した台風12号は、広い範囲に大雨をもたらし、紀伊半島を中心に各地で大規模な土砂災害、河川氾濫等が発生し、奈良県、和歌山県域に甚大な人的・物的被害を生じさせました。長賜地区でもテラ土砂流出による国道168号の崩壊、長賜谷山腹崩壊に伴う土砂ダム発生による周辺地区への長期間の遮断等も甚大な影響が生じました。唯一の幹線道路である国道168号の崩壊による寸断は、集落が孤立するなど、地域生活や救命・救急活動に多大な影響を及ぼしました。また、長賜道路をはじめとした五條新宮道路は、発生が危惧される東南海・南海地震による紀伊半島沿岸部被災時に広域的な緊急輸送道路の役割を果たします。今後は長賜道路をはじめ、災害に強い紀伊半島の緊急輸送道路として五條新宮道路の早期整備が求められています。

一紀伊半島大水害以降の地域の要望

- 平成23年9月: 奈良県知事が国土交通大臣に五條新宮道路の早期整備を要望
- 平成23年10月: 三重県、奈良県、和歌山県の知事が国・三県合同対策会議において、五條新宮道路の未着手区間の早期事業化を提案
- 平成23年11月: 奈良県知事が国土交通大臣に五條新宮道路「長賜道路」の新規事業化を要望
- 平成23年12月: 奈良県知事が国土交通大臣に五條新宮道路「長賜道路」の直轄権限代行による新規事業化を要望

1 災害に強い道路が確保されます。

現国道168号における異常気象時の交通規制や崩土などによる通行止めが発生しても、長賜道路の開通により安全で安定した交通が確保されます。また、地域住民にとっては、被災時の孤立化を防ぎ、緊急避難ルートとして活用できるようにします。国道168号長賜道路が開通すれば、長賜地区における異常気象時の交通規制や崩土による通行止めのリスクが低減され安全で安定した交通が確保され、紀伊半島内除部の安全性の向上に寄与します。

